

部局名	産業活力部	所属名	商工課	所属長名	東 房子	電 話	483-1151 内線3570
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3280		事務事業名称	商工振興事業					短縮コード	経常	3280	臨時	3281
予算区分	会計	01	一般会計	款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市八千代商工会議所運営補助金交付要綱・八千代市商店街共同施設設置事業補助金交付要綱 ・八千代市商業活性化推進事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・商工会議所運営補助金は、地域の商工業の発展の核となる商工会議所を支援し商工業の振興を図るため実施。商工会議所が商工業の振興を図るため、運営を行うに当って要する費用に補助。 ・商店街共同施設設置事業補助金は、商店街の魅力ある発展を図るための環境整備への要望で実施。商業団体が商店街（会）に共同施設を設置する事業や街路灯の電気料を補助。 ・商業活性化推進事業補助金は、昭和61年度に大型店進出による商工会議所との対策協議をきっかけとして始まった。商業団体が商店街の活性化を図るため実施するイベント等の事業に補助。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
ビジネスモデルの多様化，高齢化や不況による消費の低迷。さらに，他商圏とも重複しており，都市間競争への対応も必要となってくる。					大項目（節）	02	商工業						
					中 項 目	01	商工業						
					小項目（施策）	01	商業の振興						
					細 項 目	02	商店街環境整備の促進						
03	賑わいのある商店街の形成												
実施計画の計画事業	5201	高齢化に対応した商店街活性化プログラム実施支援事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	街路灯を設置した商店会, 活性化を図るためのイベント実施商店会							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ・商工会議所が商工業の振興を図るため，運営を行うに当って要する費用に補助。・商店会14団体に対し, 商店会街路灯の電気料を補助。 ・商店会等が行う集客のためのイベントに補助(商店会8団体及び商店会連合会)。・商工会議所が行ったプレミアム付商品券発行事業への補助。 ・県等からの商工振興に係る調査物・周知依頼文書等への対応。							
	※平成22年度に計画していること： 21年度と同様の事業内容である。（商工会議所が行ったプレミアム付商品券発行事業への補助を除く）							
意図 （何を狙っているのか）	1. 商店会の集客力等を上げ，商業団体が商店街の賑わいを創出し活性化を図る。2. 商店街の魅力ある発展を図る。3. 商工会議所が行う事業等により，商工業の振興を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	街路灯を設置した商店会数	団体数	14	14	14	14	
	指標 2	イベント実施商店会数	団体数	8	8	8	8	
	指標 3							
活動指標	指標 1	街路灯の電気料補助商店会数	団体数	14	14	14	14	
	指標 2	商業活性化推進事業補助商店会数	団体数	8	8	8	8	
	指標 3							
成果指標	指標 1	街路灯の電気料補助商店会の会員数（2年毎の県調査）	店	432	432	432	432	
	指標 2	商業活性化推進事業補助商店会の会員数（〃）	店	272	272	272	272	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3280	事務事業名称	商工振興事業			所属名	商工課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	26, 869	29, 418	28, 149	29, 796	
		その他	千円	0	0	19, 962		
	主な事業費の内訳			賃金 207, 000円 旅費 1, 580円 消耗品費 13, 872円 補助金 26, 647, 163円	旅費 9, 000円 消耗品費 14, 000円 補助金 29, 395, 000円	旅費 8, 300円 消耗品費 12, 308円 補助金 48, 090, 438円	賃金 230, 000円 旅費 9, 000円 消耗品費 14, 000円 補助金 26, 543, 000円	
人件費 (B)			千円	12, 674. 9	10, 645. 3	10, 683. 3	12, 614. 6	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	39, 543. 9	40, 063. 3	58, 794. 3	42, 410. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位の施策「商業の振興」を推進するために、商工振興事業を実施しており、結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	商工会議所への補助, 街路灯の電気料金補助, 商店会の集客イベントへの補助等継続的に実施していく事業である。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	商店会等は民間企業であり、事業者自らが行う事業に、市が支援しているものである。				
有効性・ 効率性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
			☒ 現状のままでよい	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある					
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 現状のままでよい					
			☐ 見直す必要がある					
			☐ 評価対象外事項					
			☒ 現状のままでよい					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある	高齢化社会の進展に鑑み, 市民サービスの向上にも繋がる商店街の活性化を推進する必要があることから, 平成19年度に「高齢化に対応した商店街活性化プログラム」を策定した。空き店舗の活用等による, このプログラムの実施団体を募ったが, 一部大型店舗と競合する事業内容であることや一部事業者負担があることなど事業の継続が難しいとの理由から, 20・21年度とも応募団体はなく, 支援事業の実施はできなかった。今後は, 商店街活性化策について, 商店会等と話し合いを進めていきたい。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
			☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☒ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)	
			☒ ある	産業振興は事業者の自助努力を基本としているので、事業者からの応募などがないこと。				
有効性・ 効率性	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ない					

コード	3280	事務事業名称	商工振興事業				所属名	商工課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			「高齢化に対応した商店街活性化プログラム実施支援事業」ができなくなったことから、空き店舗の活用以外も含めての商店街の活性化策について、商店会等と話し合いをし高齢化に対応した商店街活性化プログラムの内容の見直しなどを進めていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			商店街活性化プログラムの内容の見直しなどを進めていくことになるので、経費・成果も不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・商店会に対して 生鮮製品を取り扱っていない商店会が多く、品数が少なく選びにくい。また、個店の特徴もないので、なかなか足を運ぶことが少ない。 閉店時間を午後9時頃までにし、帰宅時に利用できるようにして欲しい。 ・商店会及び行政に対して 老人施設や保育施設等商業以外での、空き店活用の支援要望。 子育て支援（子供を養育する保護者を対象）などのクーポン券（商品の割引などの優遇サービス）発行要望。									

所属長コメント	本事業は妥当な評価と考える。なお、本事業は事業者の主体性を基本に、補助金については商工業の振興及び活性化を図るという目的に照らし合わせ、市全体の公益性・費用対効果など様々な観点から検証し、改善すべきは改善していきたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			商工業の推進及び活性化については、課題解決に務め、順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									